

# ダムニュース



[法人名] 一般財団法人ダム技術センター  
[郵便番号] 〒110-0008  
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F  
[電話] 03-5815-4161  
[FAX] 03-5815-4162  
[ウェブサイト] <https://www.jdec.or.jp/>  
[電子メール] [damnews@jdec.or.jp](mailto:damnews@jdec.or.jp)

## この号の内容

- 1 Dam news 投稿記事募集
  - 2 ダム工学会より(1)  
令和6年度 ダム工学会賞  
候補募集のご案内
  - 3 ダム工学会より(2)  
「令和6年度 ダム工学会  
研究発表会」発表論文の募集
  - 4 フォトコンテスト作品募集
  - 5 「ダム技術 9月」の目次
- 3 図書販売



山佐ダム(渡辺 正史氏撮影)

【第38回ダムフォトコンテスト9月入選作品】

## Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、**積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。**

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター 『ダムニュース』 編集事務局

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 企画部 ダムニュース担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] damnews@jdec.or.jp

## 令和6年度ダム工学会賞候補募集のご案内



一般社団法人ダム工学会では「令和6年度ダム工学会賞候補」の募集を開始します。ダム工学会ホームページ掲載の募集要項をご参照のうえご応募下されますようお願いいたします。ご不明な点は下記「事務局」へお問い合わせください。

## 記

## 1. 募集する賞：候補対象（昨年度授賞実績）

- ・功績賞：技術賞と同等の業績または論文賞と同等の論文発表等の積み重ねによって、ダム事業の発展やダム工学の進歩に著しく貢献したと認められた個人または団体、あるいはダム工学会の運営に寄与し、学会の声価を高め、その興隆に著しい貢献をなしたと認められた個人または団体に対して授与する。なおダム工学の進歩及びダム工学会の発展に特に著しい貢献をなしたと認められる場合は特別功績賞を授与するものとする。(5人)
- ・技術功績賞：ダムの建設・管理等の実務の積み重ねにより、ダム技術の進歩及び発展に著しい貢献をなしたと認められる個人に授与するものとする。(1人)
- ・技術貢献賞：ダムの建設・管理等の実務において、ダム工学の進歩、発展及びダム技術の普及、継承に著しい貢献をなしたと認められる活動を行った団体に授与するものとする。(なし)
- ・技術賞：ダムの計画、設計、施工、または維持管理等に関して、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた画期的な事業または業務を実施した個人または団体【事業者・設計者・施工者（機械設備業者含む）】に対して授与する。(1事業)
- ・論文賞：ダム工学会が刊行する論文集「ダム工学」及び、これと同等の会誌にダム工学に関わる独創的な論文を発表し、ダム工学における学術、技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた本会会員である個人または本会会員を含む団体に対して授与する。(2編)
- ・著作賞：ダム工学を体系化し、またはダム工学における新しい分野を集大成し、ダム工学、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた工学的な著作（動画含む）の著者、またはダム工学、ダム技術の意義あるいはダム技術者の活躍を広く世に紹介することに著しい貢献をなしたと認められた一般的な著作（動画含む）の著者に対して授与する。(0編)
- ・技術開発賞：今年度は公募なし。(隔年で実施しており、来年度公募予定)

## 2. 応募受付期間 令和6年11月20日まで

## 3. 事務局（問合せ先・担当者）

- ・功績賞・技術功績賞・技術貢献賞・技術賞・著作賞  
〒108-8502 東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティB棟  
株式会社大林組 生産技術本部 ダム技術部内  
ダム工学会賞選考委員会事務局 担当者 柱 征宏  
TEL 050-3828-4676 (直通) FAX 03-5769-1977  
E-mail hashira.yukihiko@obayashi.co.jp
- ・論文賞・技術開発賞  
〒104-8370 東京都中央区京橋 2-16-1  
清水建設株式会社 土木技術本部 ダム統括部内  
ダム工学会賞選考委員会事務局 担当者 仁瓶 崇史  
TEL 03-3561-3883 FAX 03-3561-8673  
E-mail nibe@shimz.co.jp

一般社団法人ダム工学会 令6年9月2日

## 「令和6年度 ダム工学会 研究発表会」 発表論文の募集

令和6年11月21日（木）に予定している「令和6年度 ダム工学会 研究発表会」論文の募集をいたします。

論文はダム計画・管理、ダム環境、ダム設計・施工技術等のダムに関連するものを広く募集しております。

ダム技術に携わるみなさまの研究成果、現場報告等の発表をお待ちしております。

応募される方はメールもしくはFAXにて**令和6年10月11日（金）**までにお申込み下さるようお願いいたします。

なお、結果は当日に発表予定ですが、賞状は後日郵送します。

記 「令和6年度 ダム工学会 研究発表会」予定									
発表会日時	令和6年11月21日（木） 10:00～12:00頃								
発表会場所	<p>発表者はオンラインもしくは会場に来場しての発表をご選択いただけます。</p> <p>審査員の方は原則オンラインとなります。</p> <p>聴講者はオンラインでの聴講のみとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる発表（Zoomの利用となります）</li> <li>・会場での発表</li> </ul> <p>「東京カルチャーカルチャー」（JR 渋谷駅下車）</p> <p>オンラインによる発表の場合、発表に必要なパソコン、通信環境、ソフトウェア、発表のためのスペースなどは発表者で準備していただく必要があります。</p> <p>また発表日前に通信環境確認の作業があります。</p> <p>会場での発表の場合、機材などはダム工学会で準備いたします。</p>								
今後のスケジュール （予定）	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">10月18日（金）</td> <td>審査開始（査読前：原稿締切日）</td> </tr> <tr> <td>10月25日（金）</td> <td>査読結果の通知</td> </tr> <tr> <td>11月8日（金）</td> <td>原稿最終締切</td> </tr> <tr> <td>11月21日（木）</td> <td>令和6年度 ダム工学会 研究発表会</td> </tr> </table>	10月18日（金）	審査開始（査読前：原稿締切日）	10月25日（金）	査読結果の通知	11月8日（金）	原稿最終締切	11月21日（木）	令和6年度 ダム工学会 研究発表会
10月18日（金）	審査開始（査読前：原稿締切日）								
10月25日（金）	査読結果の通知								
11月8日（金）	原稿最終締切								
11月21日（木）	令和6年度 ダム工学会 研究発表会								
申込方法詳細	<p>ダム工学会 HP より申込方法の詳細をご確認ください。</p> <p>URL : <a href="http://www.jsde.jp/index.html">http://www.jsde.jp/index.html</a></p>								

## 「ダム工学会 研究発表会」 発表申込用紙

題名			
発表概要	*300字以内でお願いします。		
著者名	氏名 (発表者)		勤務先 及び 役職名 E-Mail
	氏名		勤務先 及び 役職名
	氏名		勤務先 及び 役職名
	氏名		勤務先 及び 役職名
連絡責任者	氏名  住所  TEL Fax E-Mail		
発表方法	1：オンラインで発表 2：発表会場に会場して発表 (○印を付けてください)		

\*) 題名は、仮題名でも結構です。

\*\*) 著者名は、増減があってもかまいません。

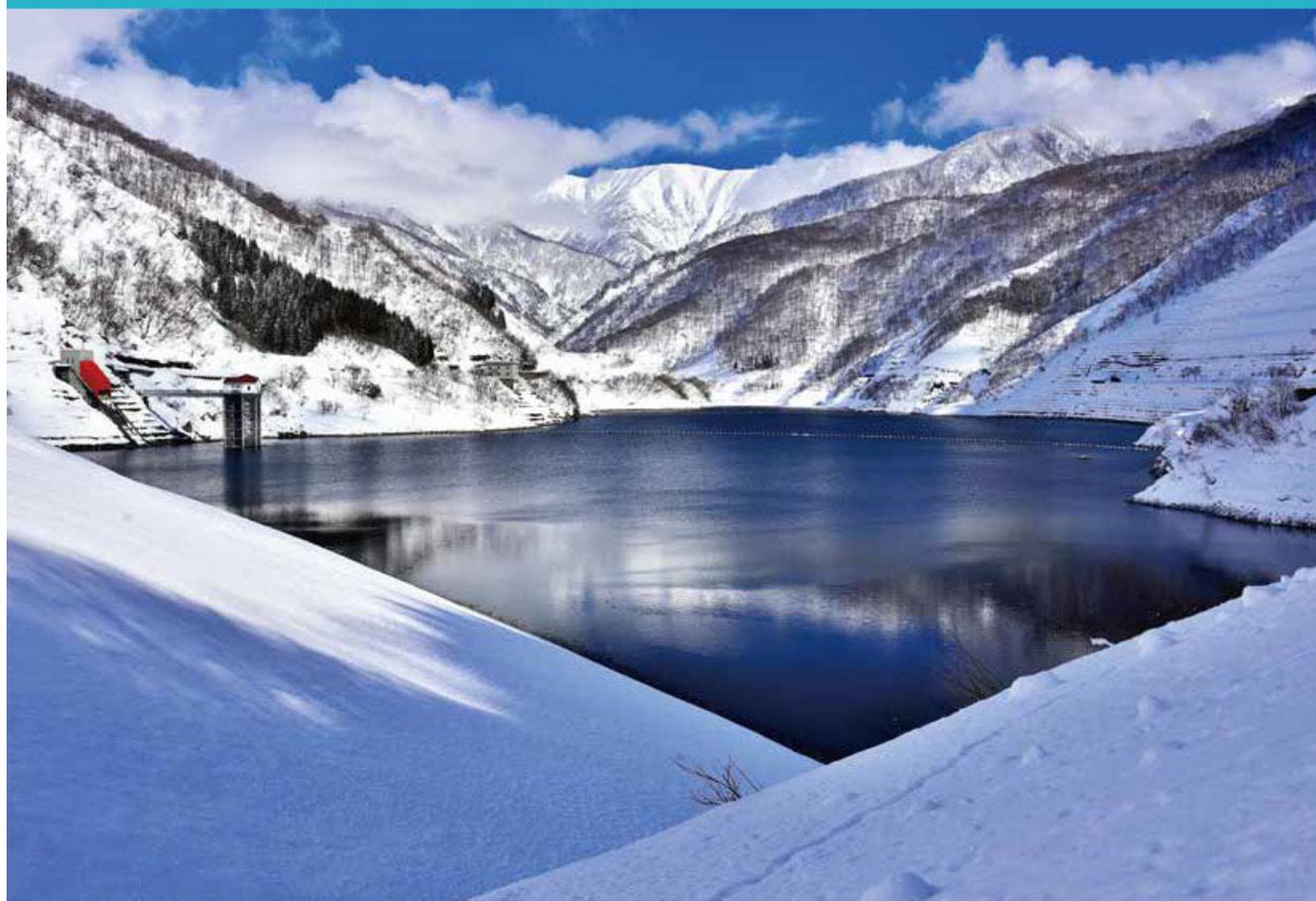
\*\*\*) 発表者、連絡責任者のメールアドレスは必ず記入をお願いします。

★申し込み受領後に事務局よりご連絡いたします。

ダムフォトコンテスト作品募集中 応募〆切り 2024年9月30日（消印有効）

※当ニュース配信現在、応募数が例年より僅少となっており、積極的なご応募をいただきますようご協力をお願い致します。

## 《第39回作品募集》



▲第39回ダムフォトコンテスト受賞作品「三回川ダム」撮影者：江部 聖市

# ダムフォトコンテスト

風景の中のダム～ダムと自然と人々と～

“ダム”をテーマとした写真であれば、あらゆる作品大歓迎！  
皆様からの多数のご応募をお待ちしております。

応募先及びお問合せ先

 **ダム技術センター**  
<http://www.jdec.or.jp>

〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F  
(一財)ダム技術センター ダムフォトコンテスト係 担当 栗田、山口  
TEL.03-5815-4161(代) FAX.03-5815-4162

# ダムフォトコンテスト

風景の中のダム～ダムと自然と人々と～

## 《第39回作品募集》

### 応募要項

「ダムフォトコンテスト」は、写真を通じて、**ダムの役割やダムと周辺環境との調和**などを一般の人々に知っていただくことを目的として開催しており、**令和6年度で39回目**の開催となります。

下記応募要領により募集いたしますので奮ってご応募くださるようお願いいたします。

1. 「ダム」をテーマにした写真で、ダム堤体もしくは関連構造物が写っているものが対象です。ダムの工事中、完成を問いません。ただし、砂防ダムは除きます。
2. 写真は、1月から12月までの月毎の季節感(桜、紅葉、雪景色等)のあるものをお願いします。
3. A4版カラープリント(光沢紙)でご応募ください。なおコンピュータにて画像処理されたものは応募できません。
4. 連続写真、組写真、日付の入っているものは応募できません。

◆ 応募資格/制限はありません。

◆ 応募票/下記①～⑤を明記した応募票(様式任意)を作品の裏面に必ず貼り付けて下さい。①氏名・年齢・自宅の住所・電話番号・職業 ②ダム名及び所在地 ③写真について簡単なコメント ④撮影年月日 ⑤応募動機(ポスター、チラシ、ホームページ、ダムイベント、知人からの紹介等)

◆ 応募作品数/1人5作品までとします。

◆ 締め切り/令和6年9月30日(月) 消印有効

◆ 応募作品/原則として返却いたしません。

◆ データ・フィルムの提出/入賞作品については、ご通知後JPEGデータまたはネガフィルム・ポジフィルムをご送付願います。

◆ 応募作品の帰属/応募作品は応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているもので、過去未発表のものに限りません。応募作品の著作権及びその他の関係する権利は(一財)ダム技術センターに無償で移転、帰属し、当センターが無償で広報等(フォトコンテストポスター(リーフ含む)、機関誌「ダム技術」の表紙、ホームページ等)に使用することがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ 肖像権/被写体に人物が入る場合は、本人の承諾を得た上でご応募ください。肖像権侵害等の責任は当社は負いません。万一、応募作品について、第三者と紛争が生じた場合は、応募者ご自身の責任と費用負担によって解決するものとします。

◆ 入選作品/① 応募作品のうち、13作品(ダム技術表紙及びホームページにてダウンロードするカレンダーの1月～12月の12枚と次年度用募集ポスター1枚として)を入選作品として選考します。

◎最優秀賞(1点) ○審査員特別賞(1点) ◆優秀賞(3点)

★佳作(8点) ② 審査は(一財)ダム技術センターが依頼する審査員により行います。③ 入選の方には10月下旬頃、本人に直接連絡するほか、「(一財)ダム技術センター ホームページ」及び「ダムニュース」令和7年1月号にて発表します。(第38回ダムフォトコンテスト入賞作品は、ホームページで紹介しています)

◆ 受賞者への賞品/最優秀賞には、30,000円相当の賞品。審査員特別賞には、15,000円相当の賞品。優秀賞には、10,000円相当の賞品。佳作には、5,000円相当の賞品。

第38回ダムフォトコンテスト受賞作品



撮影者:江部 堅市

### さぐりがわ 三国川ダム

1975年着工  
1993年完成

河川:信濃川水系三国川

位置:新潟県南魚沼市舞台地先

N37°03'14" E139°00'03"

目的:洪水調節(F)、

流水の正常な機能の維持(N)、

上水道用水(W)、発電(P)

形式:ロックフィルダム

堤高:119.5m

堤頂長:419.5m

堤体積:6,900,000m<sup>3</sup>

総貯水容量:27,500,000m<sup>3</sup>

三国川ダムは、魚野川の支川三国川の upstream に建設された多目的ダムです。その役割は多岐にわたり、地域の人々を洪水や渇水から守ることはもちろん、水道用水の供給や発電を行い、私たちの暮らしを支えています。また、ダム周辺には「しゃくなげ湖」をはじめ、公園やキャンプ場などさまざまな遊具があります。

### 応募先及び問い合わせ先

 **ダム技術センター**  
http://www.jdec.or.jp

〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F  
(一財)ダム技術センター ダムフォトコンテスト係 担当 栗田、山口  
TEL.03-5815-4161(代) FAX.03-5815-4162



## 図 書 販 売

1. ダム技術  
・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）  
令和6年4月号（No. 451）～令和7年3月号（No. 462） 1,400円（税込・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）  
・平成17年6月発行 A4 判 88,200円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩  
・平成17年12月発行 A4 判 4,500円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理  
・平成18年5月発行 B5 判 2,000円（税込・送料別）
5. 地質現象とダム  
・平成20年6月発行 A4 判 7,000円（税込・送料別）
6. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術  
・平成22年8月発行 A5 判 6,000円（税込・送料別）
7. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料  
・平成24年2月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
8. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料  
・平成24年6月発行 A4 判 3,000円（税込・送料別）
9. ダム技術Q&A—総集編—改訂版 I  
・平成27年3月発行 A4判 3,240円（税込・送料別）
10. ダムの地質調査—ボーリング・調査坑・トレンチ—  
・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
11. RCD工法施工技術資料  
・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）
12. 岩盤画像の取得と活用  
・令和3年3月発行 A4判 7,000円（税込・送料別）
13. ダム工事積算の解説（令和3年度版）  
・令和3年8月発行 A4判 2,900円（税込・送料別）
14. ダム用PSアンカー設計施工マニュアル  
・令和3年9月発行 A4判 3,300円（税込・送料別）
15. ダム工事積算の解説（令和5年度版）  
・令和5年10月10日発行 A4判 3,000円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりword及びPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

【法人名】 一般財団法人ダム技術センター 図書販売

【郵便番号】 〒110-0008

【住所】 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

【担当者】 図書販売担当

【電話】 03-5815-4161

【FAX】 03-5815-4162

【電子メール】 books@jdec.or.jp

